



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月29日

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3799 URL https://www.keyware.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)三田 昌弘
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画部長兼広報IR室長 (氏名)後根 桂二 (TEL)03(3290)1111
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,130	△5.7	△29	—	37	△3.7	26	△47.8
2020年3月期第2四半期	8,626	7.3	△23	—	38	—	51	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 43百万円 (△20.9%) 2020年3月期第2四半期 55百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	3.64	—
2020年3月期第2四半期	6.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,790	5,253	59.8
2020年3月期	9,269	6,330	68.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 5,253百万円 2020年3月期 6,330百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	3.1	450	3.7	500	△7.6	400	15.1	56.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	9,110,000株	2020年3月期	9,110,000株
2021年3月期2Q	2,280,031株	2020年3月期	895,031株
2021年3月期2Q	7,367,319株	2020年3月期2Q	8,408,132株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・2021年3月期第2四半期決算説明会につきましては、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、開催を自粛することといたしました。なお、決算説明(動画)および決算補足説明資料につきましては、11月13日に当社ホームページへ掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて社会経済活動が制限されるなか、極めて厳しい状況となりました。緊急事態宣言解除後は、各種政策の効果等により持ち直しの動きが見られたものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大や米中貿易摩擦の長期化などによる世界経済への影響が懸念され、先行きも極めて不透明な状況が続きました。

当社が属する情報サービス産業につきましては、本年10月に経済産業省が発表した2020年8月の特定サービス産業動態統計(確報)によれば、売上高合計は前年同月比3.5%減と前年を下回ったほか、売上高の半分を占める「受注ソフトウェア」も前年同月比3.0%減と前年を下回りました。

このような事業環境のなか、当社グループは、「基盤事業*の拡大と収益向上」「新規事業の創出・育成」「社員の成長と活躍を推進」を主要方針として取り組みを進めております。基盤事業においては、顧客のデジタルトランスフォーメーション実現や基幹システム刷新に向けた需要を取り込むべく体制を強化いたしました。一方で、新型コロナウイルス感染症により事業活動に影響を受けた一部既存顧客から受注の延期・規模縮小等が発生したことから、新規顧客に向けた提案活動を推進したほか、既存顧客の深耕や既存案件の拡大に取り組みました。また、新事業の育成に向けた取り組みを継続するとともに、社員の成長と活躍を支援するための働き方改革や健康経営に取り組みました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けては、テレワークやリモート会議などを推進するとともに、リモート環境においても社員が活躍し働きやすいよう、業務ルールの見直しや環境整備を進めました。

※ 当社グループの売上高の大部分を占めるシステム開発事業とS I事業を基盤事業と位置付けております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は9,146百万円(前年同期比40百万円増、0.4%増)、売上高は8,130百万円(前年同期比495百万円減、5.7%減)となりました。損益面につきましては、一部顧客での案件規模縮小等により売上減となったものの、効率化推進を図り費用削減に努めた結果、営業損失は29百万円(前年同期は23百万円の損失)、経常利益は37百万円(前年同期比1百万円減、3.7%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、法人税等の影響により、26百万円(前年同期比24百万円減、47.8%減)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① システム開発事業

受注高は5,873百万円(前年同期比191百万円増、3.4%増)、売上高は5,259百万円(同42百万円増、0.8%増)、営業利益は71百万円(前年同期は53百万円の損失)となりました。

受注高につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、見込んでいた案件の一部において受注の遅れや延期、規模の縮小などがあったものの、官庁系での既存案件の拡大や宇宙領域系の案件獲得などにより、前期比で増加いたしました。売上高につきましても、リリース時期の延期などに影響があったものの、前述の官庁系での既存案件の拡大に加え、運輸系において前期に受注した大型案件の開発が進んだことなどにより、前期比で増加いたしました。損益面につきましては、売上高の増加に加え販売費及び一般管理費の削減に努めた結果、利益計上となりました。

② S I事業

受注高は2,460百万円(前年同期比246百万円減、9.1%減)、売上高は2,036百万円(同632百万円減、23.7%減)、営業損失は52百万円(前年同期は97百万円の利益)となりました。

受注高につきましては、基幹系システム刷新の大型案件獲得などがあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により流通系案件、ホテル向け案件などで受注規模の縮小が生じたため、前期比で減少となりました。売上高につきましては、前期にあったERP系の大型開発案件が収束したことなどにより、前期比で減少となりました。損益面につきましては、売上の減少に伴い、損失計上となりました。

③ その他事業

受注高は812百万円(前年同期比96百万円増、13.4%増)、売上高は835百万円(同94百万円増、12.7%増)、営業損失は46百万円(前年同期は52百万円の損失)となりました。

受注・売上高につきましては、サポートサービス系、新事業が堅調に推移したことなどにより、前期比で増加

いたしました。損益面につきましては、サポートサービス系において収益性が低下したものの、新事業での売上高の増加などにより、前期比で損失が縮小いたしました。

なお、期初に行った組織改編において、前連結会計年度まで「システム開発事業」に所属しておりました金融系が保持する技術・開発ノウハウを、顧客・業種の需要に応じて再編・集約することとし、この結果、その一部を「S I事業」に移管することといたしました。これに伴い、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、当第2四半期連結累計期間の表示に合わせて組替えを行っており、前年同期比につきましては組替え後の数値によっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 流動資産

流動資産残高は、5,782百万円(前連結会計年度末比494百万円減、7.9%減)となりました。主な変動要因は、受取手形及び売掛金の減少、仕掛品の増加であります。

② 固定資産

固定資産残高は、3,007百万円(前連結会計年度末比15百万円増、0.5%増)となりました。主な変動要因は、のれんの減少、投資有価証券の増加であります。

③ 流動負債

流動負債残高は、3,360百万円(前連結会計年度末比660百万円増、24.5%増)となりました。主な変動要因は、短期借入金の増加、賞与引当金の減少であります。

④ 固定負債

固定負債残高は、175百万円(前連結会計年度末比63百万円減、26.5%減)となりました。主な変動要因は、長期借入金の減少であります。

⑤ 純資産

純資産残高は、5,253百万円(前連結会計年度末比1,076百万円減、17.0%減)となりました。主な変動要因は、自己株式の増加であります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,265百万円(前連結会計年度末比47百万円増、3.9%増)となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、たな卸資産の増加(453百万円)、賞与引当金の減少(152百万円)、未払消費税等の減少(189百万円)などがあつたものの、売上債権の減少(1,041百万円)などにより、312百万円の増加(前年同四半期は793百万円の増加)となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金は、無形固定資産の取得による支出(25百万円)などにより、32百万円の減少(前年同四半期は40百万円の減少)となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金は、短期借入金の純増(1,000百万円)があつたものの、長期借入金の返済による支出(113百万円)、自己株式の取得による支出(1,017百万円)、配当金の支払い(101百万円)により、233百万円の減少(前年同四半期は514百万円の減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において2020年5月15日に公表いたしました内容から変更はありません。

なお、当社グループの事業特性としまして検収が第4四半期に集中する傾向があるため、第2四半期連結累計期間の売上高および損益は、通期の業績予想から相対的に低くなる傾向にあります。

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、第1四半期連結累計期間に生じておりました検収手続き等の遅れは、当第2四半期連結会計期間末までにはほぼ解消されたものの、一部の顧客においては、案件の規模縮小や受注延期などの影響が生じております。しかしながら、当社グループでは、このような状況下においても社員が活躍し働きやすいよう、各種業務ルールの見直しや環境整備を推進するとともに、費用削減等の経営効率化にも積極的に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響につきましては軽微にとどまっております。

また、当社グループを取り巻く環境につきましても、前述の通り一部の顧客において案件規模の縮小や受注の延期などIT投資を抑制する動きも見られますが、各企業においては、新型コロナウイルス感染症対応により浮き彫りとなった課題に対する施策としてのシステム化対応、デジタルトランスフォーメーションの推進や老朽化した基幹業務システムの刷新など、IT投資に対する意欲は底堅く推移するものと見込んでおります。

当社グループとしましては、更なる生産性向上と効率化を推進し、引き続き費用削減に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症の影響が比較的少ない官庁系・公共系などの代替案件獲得に努めており、当期の損益に与える影響は軽微であるものと見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,218,020	1,265,496
受取手形及び売掛金	4,740,162	3,698,809
商品及び製品	5,850	87,330
仕掛品	179,969	551,793
その他	136,849	181,770
貸倒引当金	△3,513	△2,389
流動資産合計	6,277,338	5,782,811
固定資産		
有形固定資産	99,391	94,040
無形固定資産		
のれん	170,473	159,819
その他	82,549	86,810
無形固定資産合計	253,023	246,629
投資その他の資産		
投資有価証券	2,471,654	2,497,969
その他	174,158	173,630
貸倒引当金	△6,362	△4,826
投資その他の資産合計	2,639,450	2,666,773
固定資産合計	2,991,865	3,007,443
資産合計	9,269,204	8,790,255

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	907,213	817,941
短期借入金	-	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	226,664	176,676
未払法人税等	101,881	42,313
賞与引当金	701,755	549,376
受注損失引当金	33,667	18,244
その他	729,159	756,400
流動負債合計	2,700,342	3,360,953
固定負債		
長期借入金	93,344	30,000
資産除去債務	110,884	111,907
その他	34,252	33,442
固定負債合計	238,480	175,350
負債合計	2,938,823	3,536,303
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	507,237	507,237
利益剰余金	4,446,817	4,371,588
自己株式	△325,928	△1,343,903
株主資本合計	6,365,363	5,272,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,550	19,554
退職給付に係る調整累計額	△49,532	△37,763
その他の包括利益累計額合計	△34,982	△18,208
純資産合計	6,330,381	5,253,951
負債純資産合計	9,269,204	8,790,255

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	8,626,547	8,130,915
売上原価	7,333,399	6,959,871
売上総利益	1,293,147	1,171,043
販売費及び一般管理費	1,316,625	1,200,234
営業損失(△)	△23,477	△29,190
営業外収益		
受取利息	15	11
受取配当金	1,433	1,509
持分法による投資利益	65,243	62,742
その他	18,693	18,794
営業外収益合計	85,386	83,057
営業外費用		
支払利息	2,167	5,449
支払手数料	19,614	9,515
その他	1,345	1,548
営業外費用合計	23,127	16,513
経常利益	38,781	37,354
税金等調整前四半期純利益	38,781	37,354
法人税等	△12,564	10,554
四半期純利益	51,345	26,800
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	51,345	26,800

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	51,345	26,800
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,600	4,230
持分法適用会社に対する持分相当額	5,362	12,543
その他の包括利益合計	3,762	16,773
四半期包括利益	55,108	43,573
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,108	43,573
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	38,781	37,354
減価償却費	76,278	27,416
のれん償却額	10,654	10,654
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	8,593	△15,422
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	27	△2,660
受取利息及び受取配当金	△1,449	△1,520
支払利息	2,167	5,449
持分法による投資損益 (△は益)	△65,243	△62,742
売上債権の増減額 (△は増加)	1,133,756	1,041,352
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△226,052	△453,304
その他の資産の増減額 (△は増加)	2,110	△33,478
仕入債務の増減額 (△は減少)	66,414	△89,271
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△153,760	△152,379
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△104,392	△189,239
その他の負債の増減額 (△は減少)	△10,751	205,665
その他	△8,836	794
小計	768,298	328,668
利息及び配当金の受取額	68,675	55,305
利息の支払額	△2,106	△5,449
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△41,777	△65,857
営業活動によるキャッシュ・フロー	793,089	312,666
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,687	△1,049
無形固定資産の取得による支出	△6,921	△25,441
投資有価証券の取得による支出	△50,000	-
投資有価証券の売却による収入	3,544	-
貸付金の回収による収入	140	140
その他	24,643	△5,769
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,280	△32,121
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△113,332	△113,332
自己株式の取得による支出	-	△1,017,975
配当金の支払額	△101,559	△101,762
財務活動によるキャッシュ・フロー	△514,891	△233,069
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	237,917	47,476
現金及び現金同等物の期首残高	1,174,139	1,218,020
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,412,056	1,265,496

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月11日付で、テクノスデータサイエンス・エンジニアリング株式会社が売却した当社株式1,385,000株を自己株式として取得いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1,017,975千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が1,343,903千円となっております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	5,217,009	2,668,412	741,125	8,626,547	—	8,626,547
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	164,525	3,097	100,033	267,657	△267,657	—
計	5,381,535	2,671,510	841,159	8,894,204	△267,657	8,626,547
セグメント利益 又は損失(△)	△53,246	97,082	△52,755	△8,919	△14,557	△23,477

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△14,557千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	5,259,222	2,036,083	835,608	8,130,915	—	8,130,915
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	116,050	—	74,936	190,986	△190,986	—
計	5,375,272	2,036,083	910,545	8,321,901	△190,986	8,130,915
セグメント利益 又は損失(△)	71,675	△52,770	△46,683	△27,778	△1,412	△29,190

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,412千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

(報告セグメント変更等に関する事項)

期初に行った組織変更において、前連結会計年度まで「システム開発事業」に所属しておりました金融系が保持する技術・開発ノウハウを、顧客・業種の需要に応じて再編・集約することとし、この結果、その一部を「S I 事業」に移管することといたしました。これに伴い、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、当第2四半期連結累計期間の表示に合わせて組替再表示しております。